

『ふろむ・マラウイ』～世界文化遺産その2～

1st /February/2013 第37号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ: チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

30号で世界文化遺産である壁画群を紹介しましたが、他の場所に行ってきました。ここでは、到着するや否や一人のマラウイアンに声をかけられました。マラウイアン曰く『私は政府に雇われてこの壁画のガイドをしています。壁画の場所はわかりにくいし、危険な動物もいるのでガイドします。ガイド料はいりません。』とのこと。マラウイに限らず海外ではこの手の詐欺があり、あとで法外な値段を言ってきたりします。でも、本当にわかりにくそうだったし、彼の顔は詐欺師ではないようなので、ガイドをお願いしました。結果は・・・このガイドのおかげでいいものを見ることができました。



壁画を紹介する看板



壁画(モチーフはトカゲ?)



赤と白の顔料で描かれたものが確かにあり、その謎がここで解決しました。ここで、我々一行は、現金にも彼を信頼し始めていました。モチーフはトカゲ、ヘビ、キリンなどから、槍や食料を貯蔵していたと思われる瓶など。チワ族が壁画を描いた場所は、何らかの儀式(成人の儀式)などで利用されたため眺望がいい場所を選んでいるのだそうです。



赤い顔料で描かれた壁画



上から カゴ 食料を入れる瓶 槍



キリンの頭部(わかりますか?)



ヘビとカゲ 真ん中の丸は卵



何かの動物と人



ガイドさん(真面目でいい方でした)



壁画のある丘からの眺望

この場所は、1912年頃にキリスト教布教のため宣教師が布教のため定住した場所だそうです。古くから街が作られたせいか、観光資源として各援助による看板設置や管理自体も行き届いている様子でした(残念ながら他の場所は壁画に落書きがすごく多い)。何か所か行った壁画の中で一番良かったです。

